

Lyric Colors

リリック カラーズ

Colors

vol.5

あなたの毎日に芸術文化のいろどりを。

公益財団法人 長岡市芸術文化振興財団 広報誌

2022
SPRING
TAKE FREE

特集

音楽で人をつなぐ、
笑顔あふれるまちづくりを

畠山 徳雄 インタビュー



特別レポート「合唱団のいま」
“歌うこと”は“生きること”
～声を重ね、心を合わせ、イキイキと～

スペシャルインタビュー
小林 美樹

注目公演
デュオ デュオ
莊村清志・福田進一・鈴木大介・大萩康司 DUO×DUO
文学座公演「一銭陶貨 ～七億分の一の奇跡～」

6/18

リリックホール コンサートホール
開場 / 13:15
開演 / 14:00

莊村清志・福田進一・鈴木大介・大萩康司

デュオ デュオ
DUO × DUO

全席指定 4,000円 ※チケット発売中 ※未就学児入場不可

日本を代表する4人のギタリストが贈る 極上のギターアンサンブル!

2019年にデビュー50周年を迎え、ますます活動を充実させている莊村清志と、パリ国際ギターコンクールでグランプリ優勝後、100を超えるディスコグラフィーを出している福田進一の、2人のクラシックギター界のレジェンド。さらに、武満徹に「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評された鈴木大介、日本だけでなくキューバ、コロンビア、台湾など国内外で活躍を展開する大萩康司、2人の次世代巨匠を迎えてお贈りする、ギター・デュオ企画です。

[出演] 莊村清志 福田進一 鈴木大介 大萩康司

[曲目] カルリ:「対話風小二重奏曲」よりラルゴとロンドop.34-2(莊村+大萩)
ボンセ(サラール編):スケルツィーノ・メヒカーノ(福田+鈴木)
レイモン:ミッドナイト・メモリーズ(福田+莊村)
ピアソラ:「タンゴ組曲」より第2楽章アンダンテ、第3楽章アレグロ(鈴木+大萩)
武満徹(莊村清志・鈴木大介編):不良少年(鈴木+莊村)
フォーレ(佐藤弘和編):組曲「ドリー」より子守唄、ドリーの庭(福田+大萩)
ディアンズ:「ハムサ」より第5楽章チュニス・チュニジア(莊村+福田+鈴木+大萩) ほか



左/鈴木大介 左上/莊村清志 右上/福田進一 右/大萩康司



「莊村清志さんからのメッセージ」

今回の4人のメンバーは、もう20年前から一緒に演奏会を行っていて、とても気心の知れた仲間です。いつもはソロやトリオ等も交えたバラエティに富んだプログラムを行ってききましたが、今回はデュオに特化した珍しいプログラムとなっています。4人なので6通りの組み合わせが出来て、その違いやそれぞれの特徴をお楽しみいただけたらと思います。

6/11

リリックホール シアター
開場 / 12:45
開演 / 13:30

文学座公演「一銭陶貨 ～七億分の一の奇跡～」

全席指定 3,000円 ※チケット発売中 ※未就学児入場不可

ものづくりに掛ける、職人たちの 愚かしくも愛おしい人間の姿

金属不足のため水筒から手榴弾まで「せともの」で製造した太平洋戦争末期。政府の無茶な要求に応え、様々な困難の末出来上がった陶製の硬貨「一銭陶貨」は、結局世に出ることはなかった…。この史実をもとに、劇作家で演出家、そしてドラマ「半沢直樹」などで活躍する俳優でもある佃典彦が、職人たちの闘いをユーモラスに書き下ろした物語です。そして、そこに登場する人々を松本祐子が見事に愛あふれる姿に演出しています!どうぞお見逃しなく!

[作] 佃典彦 [演出] 松本祐子 [出演] 奥山美代子 上川路啓志 奥田一平 平体まひろ ほか



[あらすじ]

ある日、愛知県瀬戸市にある陶芸家の加藤宅に同じ形、色、重さ。割れても欠けてもいけない陶貨)の依頼が舞い込む。誰もが不可能と思ったが、加藤家の次男・昭二が陶貨作りに取り組むことになる。失敗に次ぐ失敗、予期せぬ困難が次々に襲いかかる中、瀬戸の「窯ぐれ」の意地をかけた闘いが続く。それを全力サポートする女中・秋代。やがて、周囲の人々を巻き込み(瀬戸の町)あげてのプロジェクトへ。だが一方で、誰も予測することの出来なかった、過酷な現実が迫りつつあった。



令和3年度文化庁芸術祭賞
演劇部門(新人賞受賞)
『紙屋悦子の青春』にて

「主演 平体まひろさんからのメッセージ」

昨年「紙屋悦子の青春」という舞台で長岡に来させていただいて、今回また「一銭陶貨」で再訪できること、とても嬉しく感じています。どちらの作品も、人が人を想い合い、それが故に時に歯車が大きく狂っても、前を向き、また人を想い合う作品です。想う、ということは、自分の小さな世界を広げるはじめての一步です。戦争が身近にあるときもないときも、一人一人が誰かを想うことのできる世界でありますように。また皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。

Lyric Colors vol.5
(2022年4月25日発行)

発行(公財)長岡市芸術文化振興財団

〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356番地6

TEL. 0258-29-7715 <https://www.nagaoka-caf.or.jp/>





「花いっぱい音楽祭」 について

色とりどりの花々が見ごろを迎える5月に毎年開催しています。2006年にスタートし、長岡市在住または出身のアーティストが中心に出演するコンサートです。

初年度から畠山さんは実行委員会の中心となり、音楽監督、時には出演者として携わっています。長年開催している中で、特に印象深かった「花いっぱい音楽祭」を紹介していただきました。



この音楽祭のために結成されている「花いっぱい音楽祭弦楽オーケストラ」は、長岡市出身で日本を代表するヴァイオリニスト大関博明さんが率い、長岡市在住の奏者を中心に構成されています。

心にのこる「花いっぱい音楽祭」



「莊村さんとはたびたび共演している旧知の仲！」

2014

2013年に逝去された、世界的作曲家であり、(公財)長岡市芸術文化振興財団の芸術顧問を務められた三善晃先生を偲び、「オール三善晃プログラム」として開催しました。日本のクラシックギター界の第一人者として活躍している莊村清志さんが畠山さんと共演し、三善先生を追悼しました。

「DUO×DUO」は6/18(土)開催!

詳細は裏面へ



2018

開府400年を記念し、畠山さんが台本、作詞作曲を手掛けた、オペラ「長岡物語～戊辰の苦悩をのりこえて～」を上演しました。



劇中では畠山さんが自ら小林虎三郎に扮し公演しました



2020

新型コロナウイルス感染症の拡がりにより、全国的にイベントの中止・延期が相次ぎました。緊急事態宣言解除後、「こんなときこそ音楽で元気を届けたい」と花いっぱい実行委員会の皆さんが奮起し、コロナ禍で県内初となる音楽イベントを行いました。毎年の音楽祭とは形を変え、感染対策を考慮した少人数でホワイエでの実施でしたが、お客様から日々の閉塞感から開放され、リフレッシュできたと喜んでいただきました。



第16回 花いっぱい音楽祭2022 華麗なる弦の響き ～弦が織りなす甘美なひととき～

今年のテーマは弦楽器。長岡市ゆかりのアーティストによる世界各国の弦の音色をお楽しみいただけます。

ご来場者に
花の種を
プレゼント

5/29 日

長岡リックホール・コンサートホール

開場/13:15 開演/14:00

全席自由 1,000円 ※チケット発売中 ※未就学児入場不可

【出演】
箏/池田聡子 ギター/飯野健広 馬頭琴/デルゲルマー
弦楽合奏/花いっぱい音楽祭弦楽オーケストラ(コンサートマスター/大関博明)
コンサートナビゲーター/藤井芳

【曲目】
ドヴォルザーク「弦楽セレナーデ」 レスビーギ「リュートのための古代舞曲とアリア」
宮城道雄「ロンドンの夜の雨」 R.ディアンズ「タンゴ・アン・スカイ」 ジャンツァンノ「我が心のゴビ」

主催/花いっぱい音楽祭2022実行委員会
共催/長岡市、(公財)長岡市芸術文化振興財団、長岡市音楽文化協会、長岡市花いっぱいフェア開催協議会

特集

畠山 徳雄インタビュー

音楽で人をつなぐ、 笑顔あふれるまちづくりを

地元長岡でギターを携え、音楽活動の中核となって多彩なイベントを開催している畠山さん。「平和の森コンサート」をはじめとした、地域に密着した取り組みに熱い想いを注いでいます。長岡リックホールでも、市民による実行委員会を立ち上げ、多くの音楽イベントを成功へ導いています。また、毎年5月に開催している「花いっぱい音楽祭」では音楽監督を務めておられます。そんな活動を続ける畠山さんに、自身の活動に対する想いを伺いました。



畠山 徳雄

演奏活動は県内のみならずフランスやドイツなど海外におよび、有名ミュージシャンとの共演の経験を数多く持つ。新潟県ギター協会会長、「平和の森コンサート」実行委員長、長岡アロハクラブ会長、「花いっぱい音楽祭」音楽監督などを務めながら、執筆、作曲活動も多岐に渡って活躍中。

大学を卒業し、東京から地元長岡に戻り、ほどなくギター教室を始めました。それから色々な方からお声がけいただき、演奏会や音楽イベントのプロジェクトなどにも依頼されるようになりました。そんな中、長岡に新しい市民ホールができるという話が舞い込み、常々、地元の音楽家の居場所をつくりたい、地域の人たちに音楽に親しんでほしい」と考えていた私は、長岡の音楽環境が変わることを楽しみにしていました。リックホールが開館してからは、ギターフェスティバル、2000年を迎えるカウントダウンイベント「ミレニアムフェスティバル」、「花いっぱい音楽祭」など、リックホールならではのイベントを開催してきました。

また、市民自らが活動に参加することが大切」と考え、それぞれのイベントで実行委員会を立ち上げ、仲間たちと力を合わせて実施してきました。様々な縁があり、熱い想いを持つ仲間が生まれ、現在に至りますが、なかでも私のライフワークとも言える活動は「平和の森コンサート」です。3歳のときに長岡空襲を経験したこともあり、これからも平和が続くよう祈りを込めて毎年実施しています。残念ながら世界から戦争が消えることがなく、ニュースを見ていると怒りと悲しみで身が引き裂かれるようになります。改めて、未来を担う子どもたちのため、延いては長岡の将来のために自分ができることは続けていきたいと強く感じているところです。

私は、今年80歳を迎えます。大学に入ってから興味本位で始めたギターをこんなに長く続けているとは想像もしていなかったです(笑)。まだまだ演奏も続けていきますし、リックでやってみたいイベントがたくさんあります。これからも音楽の力で、みなさんが明るい笑顔になれるよう、より一層精力的に活動をしていきたいと思っています。

“歌うこと”は “生きること”

～声も重ね、心も合わせ、イキイキと～

“歌”は、私たちにとって、もっとも身近な音楽です。(公財)長岡市芸術文化振興財団の事業でも、“歌”を扱った公演が多く、プロのアーティストから市民が出演される演奏会まで、幅広い“歌”の事業を展開しています。また、リリックホールや市立劇場においても合唱の練習や発表会での利用が多く、長岡での合唱人気の高さがうかがえます。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、“歌うこと”が今までどおりできなくなりました。現在も、多くの合唱団体の活動や学校での音楽授業に大きな影響を及ぼしています。それでも試行錯誤を重ね、対策をとりながら懸命に練習に励んでいる合唱団体がたくさんあります。長年活動が続けてこられた3つの団体の代表の方から、現在の様子についてお話を伺いました。

女声合唱団 みつ葉

平均年齢70歳を超える私たちが生懸命活動している姿を世の中に見せたい。そして、若い人たちに元気になってほしい。そんな想いを胸に歌い続けている「元気のこころ」の合唱団。

緊急事態宣言やまん延防止などが発令されている期間以外は、感染対策をして練習を続けています。団員は歌うことを生かせる張り合いにしているので欠席者はほほいません。このような世の中ですが、「災い転じて福となす」——人生において困難な時が人間として成長できるチャンス、と前向きに捉えています。様々な不安や制限に屈せず、物事を複雑に考えすぎずに、シンプルに力を入れずに活動を続けています。

しばらく定期演奏会を見合わせていましたが、今年こそは開催します。今年で私は84歳。団員は平均年齢70歳オーバー(笑)。我々のような年寄りがいキイキと活動することで、若い人の活動意欲を刺激して、若い力でこれからの長岡の音楽文化を引っ張って欲しいと強く願っています。また、私たちの演奏会は地元音楽家の方をゲストに招くスタイルで行っています。今年はソプラノの坪内さんにご出演いただきます。団員の練習不足は認めませんが、上手く歌うことだけに固執せず、詩に想いを乗せて伸び伸びと歌います。



指導・指揮 石坂貢治さん

歌は“心の叫び”。そして、歌うことは“嬉しい”、“悲しい”...といった感情を外に向かって曝け出すことだと思っています。上手く歌うことより、曲の言葉を大切にすることが歌の真髄ではないでしょうか。そして、このことは、現代を生きる若い人たちの生き方にも言えることだと思っています。

長岡市民合唱団

日本初演の曲や、プロオーケストラとの共演、更に「団員有志で県外や海外で演奏したり...とにかく『ほかの団がやっていないようなこと』に挑戦」をモットーに活動しています。

2年前に緊急事態宣言が発令された際、夏まで休団しました。感染への不安を抱えながらの練習再開でしたが、仲間会える、歌える、という喜びは何にも代え難いということを確認できました。また、県外移動の規制のため、東京在住の先生が来るのができず、新潟の先生に指導をお願いしました。最近になり、ようやく東京から先生が来ていただけるようになり、5月の定期演奏会に向け頑張っているところです。

昨年に実施予定だった定期演奏会を5月に延期したのですが、練習もままならず、ステージ上の規制も踏まえ、当初の内容より大きく変更して実施することになりました。もっと難しい曲に挑みたいという想いもありますが、今できる最善の形で演奏会を行うことを決めました。これまでは、日本初演など、他では聴けない曲に取り組んでいましたが、今回は、純粋に歌うことの楽しさをお客様に伝えられる、聴き馴染みのある曲を中心に演奏します。



団長 中川由美さん

歌っている時間に、その世界に入りこみ「非日常」を味わえるのが“歌”の醍醐味だと思っています。心を開放して声を出し、一人一人の歌声が重なり、美しいハーモニーが生まれる瞬間に仲間と繋がっていることを実感でき、そこに喜びを感じています。

長岡市民合唱団 第32回定期演奏会
We Got Music! Just Sing! 心に響く合唱組曲— 歌い継がれる珠玉の名曲たち

5/8日 長岡リリックホール
コンサートホール
開演 / 14:00 全席自由1,000円

指揮 / 草川正憲・佐藤 匠
ピアノ / 金子陽子

練習日時 毎週月曜 / 19:00~21:20
※必要に応じて日曜・祝日に強化練習あり

見学随時受付中!

練習会場 長岡リリックホール

お問合せ 担当 / 江口 TEL.090-4603-5480

ホームページ



有志で参加したプラハでの演奏会の様子(2008年)

長岡混声合唱団

ベートーヴェンの第九を歌う「長岡第九合唱団」として1985年に発足し、2006年に「長岡混声合唱団」と改称し、宗教曲と高田三郎作品などに真摯に取り組んでいます。

ようやく3月末から、東京在住の先生に来ていただけるようになったところです。緊急事態宣言が全国に発令され、周りの様子をうかがいながら一昨年7月から練習を再開しました。当初は、東京から先生が来るのができず、ひたすら譜読み、音取りの練習でしたが、県内在住の先生よりヴォイストレーニングをしていただいたり、東京の先生からリモートで指導いただくなど、その時々々の状況に合わせて活動を継続してきました。

現在、来年度の定期演奏会を目指して、ヘンデルの「メサイア」に取り組んでいます。今後、練習の進み具合をみながら、公演日を決める予定です。これまでは、オーケストラやソリストの方をお願いして公演していましたが、このような状況なので賛況は言わず、今出来る形で実施したいと考えています。また、このコロナ禍で、どの合唱団も似たような状況だとは思いますが、団員数も減ってしまいました。演奏会を成功させるために、たいたい団員を募集しております。曲と純粋に向かい合い、その曲そのものの美しさと感動をお客様に伝えたい。ハレルヤを一緒に歌いましょー!



団長 丸山幸夫さん

歌えばスッキリ!ストレス発散!! 寿命も延びます(笑)。腹の底から声を思い切り出すことができます。そして、4声が絡み合い生まれる美しいハーモニーは、歌う者の快感となり、聴く人にも感動を届けることができます。これが合唱の最大の魅力!

団員募集中

長岡混声合唱団では、次回演奏会でヘンデル作曲「メサイア」に挑戦します。一緒に歌ってくださる方を募集しています。

指揮 / 福島 章恭
ヴォイストレーナー / 桑原 純子
ピアノ / 小山 恵

練習日時 水曜 / 19:00~21:00 日曜 / 13:00~16:00

練習会場 長岡市立劇場または長岡リリックホール

お問合せ 合唱団事務局 / 齋藤 TEL.090-2750-8753

ホームページ



第10回長岡混声合唱団 定期演奏会の様子(2010年)

みつ葉 第24回定期演奏会

5/14日 アオーレ長岡
市民交流ホールA
開演 / 14:00 入場無料

指揮 / 石坂 貢治
ピアノ / 金子 陽子
ゲスト出演 / 坪内 麗音

練習日時 毎週火曜 / 14:00~16:00

練習会場 コメサン 2階

お問合せ 担当 / 石坂 TEL.32-7959

見学随時受付中!



第7回みつ葉定期演奏会で、ゲスト五十嵐彩菜さん(ソプラノ)と共演する石坂さん。(1998年)



作曲家 三善晃氏による特別レッスンを受けている様子(1995年)

姉妹で奏でる温かく愛に満ちた

ブラームスの世界



今夏、世界が認める実力派ヴァイオリニストの小林美樹さんがリリックホールに初登場します。プログラムはブラームスのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏。そして、国内外の数々のコンクールで上位入賞を果たす、姉・小林有沙さんと共演します。マエストロ 広上淳一さんも、その確かな演奏技術と豊かな表現力を絶賛しています。今回は美樹さんから演奏曲目への想いや、お姉さんとの音楽活動についてお話をいただきました。

©山吹康男

小林美樹 スペシャルインタビュー

ブラームス
「ヴァイオリン・ソナタ」の
演奏に向けて

作品本来のタイトルが「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ」なので、二つの楽器の連携がとても大切だと思っています。3曲ともピアノから始まるので、姉とお互いに曲のイメージをどう作るのか、重点的に話し合っています。第1番は3曲の中で一番切ないですね。作曲当時可愛がっていたクララ・シューマンの息子子フェリックスが24歳の若さで亡くなり、第二章中間部は葬送行進曲のようです。幸せな時を振り返っているイメージもあります。第2番はまさに歌ですね。言葉が浮かんでくるようにヴァイオリンが歌いますし、素晴らしい風景が見えてくるようで、一番好きな作品です。第3番は最も緊張感が詰まっています。出口の見えない道を進んでいる感じがします。私自身、音楽活動をどうしていくか迷っていた時期があるので、とても共感できます。また、ブラームスは演奏者に「テンポも気にしなくて良いし自由に弾いてね、でも作品をきちんと勉強して、作品を愛して演奏してね」と言っていたそうです。全曲通して、愛を持って演奏できたら嬉しいですし、その愛

を聴いてくださる皆様にお届けできたら幸いです。

デュオのパートナー 姉の存在

姉は正義感がとても強いんです。嘘はつかないし、とうかつけない(笑)。私よりよっぽど優しい真面目なんです。私にとってはいつも絶対的に味方になってくれる頼もしい姉です。

2人での練習は、演奏している時だけではないんです。起きたてで朝ごはんを食べながら「そういえばあの曲のあの部分さあ、こうしてみない?」と、どちらからともなく言ってみたり…。姉と同居しているので、細かな点まで時間を選ばずに曲の相談や練習もしています。言いたいことが遠慮なく言えるので、良い意味でも楽しいです。

私達は小さいときから一緒に演奏してきたので、お互いのスタイルも熟知しています。本音で何でも言い合うので、時にバトルになる事もありますが(笑)、感性で弾く自由な私をいつも支えてくれる姉です。



楽屋で仲良く寄り添う2人

長岡公演に寄せて

「小林美樹」

このコロナ禍での演奏活動で、お客様からいただく拍手がこんなにも胸に響くのかと改めて感激し、各地での演奏会をより一つ一つ噛み締めながら演奏しているところです。長岡は人生で初めて伺います。新潟自体が初めてなのでとても楽しみにしています。私も姉も食えることが大好きなので、その土地の美味しいものは絶対に食べたいです。個人的には和菓子が好きなのでお饅頭や笹団子など食べてみたいですね。また、ブラームス、そして私たちが暮らしたことがあるウィーンの空気感や、ブラームスの想いを長岡の皆様感じていただければ、心を込めて演奏します。

「小林有沙」

昨年、東京文化会館にて大変ご好評いただいたブラームスのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を、姉妹で長岡の皆様にお届けできることを嬉しく思います。ブラームスの音楽の中に現れる心を打つフレーズは何年経っても人々の心を虜にします。ピアノの重厚な響きやヴァイオリンとの掛け合いも是非お楽しみください。



©Yoshinori Kurosawa

こばやしありさ
Profile 小林 有沙 ピアノ

モロッコ王妃国際ピアノコンクールでは審査員満場一致で優勝し、併せて最優秀ドビュシー演奏家賞を受賞したほか、数々の国際コンクールで入賞。ソロリサイタルをはじめ、山田和樹氏、飯森範親氏らと協奏曲を共演し、絶賛を博す。



©山吹康男

こばやし み き
Profile 小林 美樹 ヴァイオリン

5年に一度ポーランドで行われる伝統と格式あるヴィエニャフスキー国際ヴァイオリンコンクールで第2位を受賞。ポーランドでのマキシム・ヴェンゲロフ指揮による演奏会をはじめ、国内主要オーケストラからも数多くの演奏会に招かれています。

日本屈指の指揮者 広上淳一氏が語る 小林姉妹の魅力

小林姉妹はとても優しい音楽を奏でることのできる才能に恵まれた姉妹です。美樹さんのことはもうずいぶん前からよく知っていて、共演も何度もしていますが、昨年はじめて有沙さんとの共演を聴き、そのすばらしさに感動しました。時代は違いますが、前橋汀子・由子姉妹を思い出します。素敵な姉妹だなあとつくづく思います。姉妹の阿吽の呼吸から生まれる素晴らしい音楽を是非、皆さんであじわって素敵な時間を過ごしていただきたいと思っています。



京都市交響楽団定期演奏会
(2021年3月27日京都コンサートホール)



©Masaki Tomitori

ひろかみ じゅんいち
広上 淳一

国内外で多くの実績を残す、日本トップの指揮者。多忙な指揮活動と平行して後進の育成に情熱を注いでいる。

小林 美樹 ヴァイオリン・リサイタル

心に沁みる音の世界で至福の時間を――

【曲目】 ブラームス 第1番「雨の歌」ト長調 作品78
第2番 4長調 作品100
第3番 ニ短調 作品108

【出演】 ヴァイオリン／小林 美樹 ピアノ／小林 有沙

7/10日 開場／13:15
開演／14:00

長岡リリックホール・コンサートホール

全席指定 3,000円
※チケット発売中
※未就学児入場不可